

令和 6 年 8 月 30 日
山梨行政監視行政相談センター

山梨県内の2名の行政相談委員が 総務大臣表彰を受賞されます

このたび、山梨県内の2名の行政相談委員が、令和6年度行政相談委員総務大臣表彰を受賞されることになりました。

この総務大臣表彰は、行政相談委員として、永年その職にあり、その業績が特に顕著で他の模範とするに足りると認められる方を総務大臣が表彰するものです。

受賞行政相談委員

佐藤 幸子（さとう さちこ） 委員（76歳）

鮎川 英哲（あゆかわ ひでのり） 委員（74歳）

表彰式は以下のとおり行われます。

日 時 : 令和6年9月4日（水）10時00分から

場 所 : 京王プラザホテル 5階「コンコードボールルーム」

（東京都新宿区西新宿2-2-1）



照会先：総務省 山梨行政監視行政相談センター
行政監視行政相談課長 大久保 武範

T E L : 055-252-1496

E-MAIL : yaman30@soumu.go.jp

URL : <https://www.soumu.go.jp/kanku/kanto/yamanashi.html>

【参考】

受賞行政相談委員のプロフィール

〔委員氏名〕 さとう さちこ
佐藤 幸子 委員

〔年 齢〕 76 歳

〔委員活動〕 北杜市担当

委嘱期間 16 年 6 か月

（委嘱 平成 20 年 2 月 1 日）



同委員は、毎月、市の公共施設で定例相談所を開設しているほか、地元の小学校において行政相談出前教室を開催するなど、行政相談委員制度の周知・広報活動に積極的に取り組んでいます。また、日々の相談活動によって得られた情報や経験から感じた、行政の改善に関する意見を、「行政相談委員意見」として積極的に提出しています。さらに、長年の経験から、後輩行政相談委員に対して助言を行うなど、他の委員からの信望も厚く、同委員の活動は模範となっています。

〔委員氏名〕 あゆかわ ひでのり
鮎川 英 哲 委員

〔年 齢〕 74 歳

〔委員活動〕 中央市担当

委嘱期間 13 年 3 か月

（委嘱 平成 23 年 5 月 1 日）



同委員は、毎月 2 回の定例相談所の開設のほか、市の公共施設や商業施設における行政相談パネル展の開催、地域の祭りでの行政相談制度の広報活動、小学校での行政相談出前教室の開催など、行政相談委員制度の周知・広報活動に積極的に取り組んでいます。また、自ら啓発チラシを作成し各戸回覧を行うなど、地域住民の認知度を高めるのに大きく貢献しています。また、令和 3 年度からは山梨県内の行政相談委員で構成される団体の監事として活動しています。

【参考】

北杜市の行政相談委員が取り扱った行政相談の改善事例

【相談要旨】

市内にあるため池は、小学校の通学路に近いところにあり、小学生がため池周辺で遊んでいる姿をよく見かける。安全のため、ため池の流水枠にフェンスを付ける等の対策を行ってほしい。

【対応結果】

同市の行政相談委員からの提報を受け、山梨行政監視行政相談センター、山梨県及び北杜市の三者が現地の確認を行ったところ、左の写真のような状況でした。後日、県の事業として、流水枠に安全柵が設置されました。



中央市の行政相談委員が取り扱った行政相談の改善事例

【相談要旨】

利用者の多い横断歩道の白線が消えかかり、見えにくくなっているため、補修してほしい。

【対応結果】

同市の行政相談委員からの提報を受け、山梨行政監視行政相談センターが山梨県警に連絡し、対応を依頼しました。山梨県警により、交差点の停止線、横断歩道が摩耗していることが確認され、後日、白線の補修が行われました。



○ 行政相談とは？

総務省では、国の行政全般についての国民の苦情や意見・要望を受け付け、公正・中立な立場から関係行政機関に必要なあっせんを行い、その解決や実現の促進を図るとともに、それを通じて行政の制度及び運営の改善を図る「行政相談」を行っています。

○ 行政相談委員とは？

行政相談委員は、総務大臣が委嘱した民間有識者で、全国に約 5,000 人（各市（区）町村に 1 人以上）が配置されています。地域住民の身近な相談相手として、国の仕事に関する苦情や手続などの相談を受け付け、その解決のための助言や関係機関に対する通知等の業務を無報酬で行っています。

山梨県内では、69 名の行政相談委員が委嘱されています（令和 6 年 8 月 1 日現在）。